



あかしの社会福祉

No.72 2011. 10.

編集・発行

明石市社会福祉協議会

1672-0037 明石市真崎1丁目5番13号
市立総合福祉センター内
☎(078)924-9105◇市社会福祉協議会のホームページ◇ <http://www.akashi-shakyo.jp>

赤い羽根共同募金



今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が全国一斉に実施されています。共同募金は、創設時から住民相互のたすけあいを基本として運動を続けてきましたが、昨今は「無縁社会」という言葉に象徴されるように、地域や家族の関係が薄まるなかで、改めて地域での支え合いが重視されてきています。また、今年3月に発生した東日本大震災の被災地復興に向けて、日本全体で被災地を支えていこうという大きな支援の動きがあります。

こうした状況にあって明石市共同募金委員会（事務局：明石市社会福祉協議会）では、人と人のつながりを強め、たすけあいの心を持続的に育みながら、地域福祉活動の支援を行うため共同募金運動を実施します。

こうした状況にあって明石市共同募金委員会（事務局：明石市社会福祉協議会）では、人と人のつながりを強め、たすけあいの心を持続的に育みながら、地域福祉活動の支援を行うため共同募金運動を実施します。

1世帯あたりの募金の目安は230円です。地域の福祉活動を支える共同募金にあたたかいご協力をよろしくお願いいたします。



- 赤い羽根共同募金Q&A・・・P2 ボランティア派遣報告会、ボランティアフェスタ案内・・・P3
 地域福祉活動の紹介・・・P4～P5 市社会福祉協議会の事業紹介・・・P6
 善意銀行、会費のお礼 ほか・・・P7 インフォメーション・・・P8

回 覧									

赤い羽根共同募金 Q & A

共同募金の目的は？

共同募金は、区域内（兵庫県）において、公的施策のみでは支えられない地域福祉を推進していくため、たすけあいの心をもって、社会福祉分野の民間活動を財政面から支援するものです。

このようなことから、共同募金は、民間のボランティアによって集められ、地域福祉事業を実施する民間団体に配分するという特徴を持っています。

昭和26年制定の社会福祉事業法（平成12年に「社会福祉法」に改称）で明確に位置づけられ、法に基づいて進められています。

募金にはどんな種類があるの？

明石市共同募金委員会で行っている募金活動の種類は次のとおりです。

- ①戸別募金 自治会等のご協力により各世帯にお願いする募金
- ②法人募金 企業や団体等にお願いする募金
- ③街頭募金 商店街やイベント会場などで行う募金
- ④学校募金 児童生徒の皆さんの自主的な参加をお願いする募金
- ⑤バッジ募金など 事業所、社会福祉施設、官公庁、団体等にお願いする募金など



募金したお金の流れは？

集まった募金は、明石市共同募金委員会で集計して、全額、兵庫県共同募金会に送ります。そして、翌年度、兵庫県共同募金会から、県内の福祉施設や団体に配分する金額を差し引いた残りが明石市共同募金委員会に送金されます。

明石市共同募金委員会は、ここから事務費を差し引き、明石市社会福祉協議会に配分します。

明石市社会福祉協議会は、この配分金を財源として、各種事業や団体への助成等を行います。

1世帯あたりの目安の根拠は？

まず、前年度の募金状況、次年度の配分計画などにより明石市の目標額を決定します。（今年度は20,872,000円）その目標額から自治会加入世帯数などを勘案して、1世帯あたりの目安（目標額）を230円としています。

市民のみなさんに強制するものではなく、任意の募金です。

募金の使いみちは？（平成22年度実績）合計額19,736,668円

- 地域福祉の充実のために（6,814千円）
市内の各地区社会福祉協議会活動や集いなど地域福祉の支援に
- 障がいのある方のために（1,580千円）
障がい児・者の社会参加や相談などへの支援に
- お年寄りのために（2,442千円）
高齢者の生きがい活動や車いすの貸し出しなどの福祉活動の支援に
- ボランティア活動等に（1,872千円）
ボランティア活動に必要な資機材購入などの支援に
- 社会福祉施設・団体等へ（6,039千円）
県内の福祉施設や団体に備品などの購入や施設整備への支援に
- 子供たちのために（990千円）
福祉体験学習や子育て広場への支援、私立保育所の施設整備費などに



東日本大震災ボランティア派遣報告会 兼災害ボランティア事前登録者研修会 を開催しました

みなさんに感動を与える非常に意味のある会合になりました。
参加していただいたみなさん、本当にありがとうございました。

日時	平成23年8月6日(土) 午前10時から12時
場所	市立総合福祉センター 3階 大会議室
参加者	50名 ・東日本大震災ボランティア派遣者：22名 ・災害ボランティア事前登録者：28名

内容

- (1) 「活動の軌跡」(活動の振り返り)をパワーポイントにより報告
 - ・気仙沼市の様子と3回の派遣における作業の様子を写真で紹介
 - ・明石市社会福祉協議会として、受入先との事前調整の重要性を説明
 - ・被災地でのボランティア活動の意義や課題等を参考として例示
- (2) ワークショップ
 - テーマ1：初めて参加したときに感じたこと
 - テーマ2：災害ボランティア活動を通じて得たもの
 - テーマ3：明石市で大災害が起こったら、私たちはどう動く

＜主な発言＞

「何にもかえ難い貴重な経験ができました」
 「感じたものを人に伝えていく、それが『きずな』となります」
 「とにかくみんなでいっしょに行きましょう」と前向きに伝えていきたい
 「日頃からの人と人との関係づくりが非常に大切だと感じました」

＜参加者の感想＞

「被災地へ赴いたボランティアの方々真剣に取り組んでおられたのをヒシヒシと
 感じる内容でした」
 「若い人の『活動を通じて人のきずなの大切さを痛感しました』という発言に感心
 しました」



報告会の様子



あかしボランティアフェスタを開催します

市民のみなさんにボランティア活動を身近なものと感じていただき、
 様々な活動をしているボランティア同士の交流を目的に開催します。
 ボランティア活動に関心のある方は、ぜひご参加ください。

日時	平成23年11月12日(土) 午前10時から15時
場所	市立総合福祉センター



アイマスク体験

昨年度の様子



活動パネル展



子どもたちとの交流

地域福祉活動

今号は、二見地区社会福祉協議会の紹介をします。

二見地区社会福祉協議会

★いんたびゅー

8月29日（月）、井上会長を中心に地域福祉活動に対する熱い思いを語っていただきました。



井上会長（左から2人目）を中心に
権原、阪本、藤井各副会長
（左から）

地域の団体が、それぞれ地区社会福祉協議会の一員としての役割を把握して、住みよいまちづくりに取り組んでいます。

地区社会福祉協議会の構成メンバーに、必要な情報がすくに伝わるようになっていきます。

どの団体も、いい二見をつくっていこうという意気込みがあり、何かあると、「よっしゃあ！」と気軽に引き受けてくれます。今後も、このコミュニケーションを大切にしていきます。

◇二見地区社会福祉協議会では、次のような活動を行っています。

1

地区社会福祉協議会では、次の事業を行っています。

二見町福祉スクール、元気アップフェア
幼稚園・保育所の修了式用コサージュ贈呈



福祉スクールの様子（盲導犬）



元気アップフェアの様子（ケン玉）



の紹介 (第2回)

2 地域で行う事業や団体へ助成を行っています。

ふれあい会食、ネットワーク活動（岡の上つくし会、二見みのりの会、二見はまなす会）、地域福祉推進市民会議（子育て広場「はらっぱ」、みんなの交流広場「いきいき」）、環境美化活動、連合自治協議会、地区民児協、高年クラブ、校区子ども会、地愛協

3 ボランティアの支援を行っています。

地域ボランティア一覧

グループ名	主な活動内容	活動日	活動場所
岡の上つくし会	在宅高齢者の支援活動、友愛訪問、会食時の手伝い	月2回	岡の上公民館
二見みのりの会	地域高齢者との交流集い開催、障がい者ふれあい交流活動、友愛訪問（毎月）、地域の行事（敬老会、納涼大会等）に参加 ミニケアサロン（“楽しい”ミニケアサロン）	月2～3回 第3金曜日	駅北会館
二見はまなす会	地域援助活動、高齢者との交流 ミニケアサロン（サロンはまなす）	毎月15日 毎月15日	二見西の町公民館

ミニケアサロンとは……高齢者の交流を目的として、近所の人が集まり、話し、笑い、歌い、ゲームをし、食事やお茶などのいろいろなプログラムによる楽しい時間を過ごす場です。

<サロンの様子>



七夕会（岡の上つくし会）



車いす体験（二見みのりの会）



七夕会（二見はまなす会）

4 70歳以上のひとり暮らし高齢者等の孤立や閉じこもりを防止するためのふれあい会食を下記の場所で行っています。（毎月第2・4水曜日）

市営東二見住宅集会所

岡の上公民館

5 車いすの貸出はこちらで行っています

二見西部文化会館	二見北小学校校区コミセン
二見市民センター	上西厚生館
ふたみ在宅介護支援センター	みなと記念ホール
駅北集会所*	岡の上公民館*
東二見河原自治会集会所*	西二見公民館*
福里公民館*	

*印の自治会設置分については、それぞれの自治会の役員の方にお聞きください。

市社会福祉協議会の事業紹介

地域包括支援センターってどんなところ？

明石市には医師会地域包括支援センターと社会福祉協議会地域包括支援センターの2か所があり、市内を東西にわけて役割分担をしています。市社会福祉協議会は東部にあたる朝霧・大蔵・錦城・衣川・野々池・望海中学校区が担当です。

それぞれの中学校区ごとに、保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャーなどの専門職を配置し、地域の医療機関や民生児童委員、ボランティア、介護保険サービス事業所などと協力しながら地域の高齢者の安定した生活を支援しています。

「介護保険サービスを利用したいが、どうしたらいいかわからない」「物忘れがでてきたから金銭管理が不安」などの高齢者の困りごとがありましたら、ご相談ください。



☆お問い合わせ☆

東部地区（明石・西明石地区）

市社会福祉協議会地域包括支援センター（☎078-924-9113）

西部地区（大久保・魚住・二見地区）

市医師会地域包括支援センター（☎078-934-8986）

福祉サービス利用援助事業

認知症高齢者や療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方で、判断能力に不安のある方を対象に、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理を支援することにより、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるようにお手伝いする事業です。

ご利用については、ご本人の利用意思の確認が必要となりますので、詳細は市社会福祉協議会地域福祉係（☎078-924-9105）にお問い合わせください。



善意銀行

H23.7.1～H23.9.14(敬称略)

善意銀行とは？・・・

皆様から寄せられた善意の金品を預託という形でお預かりし、福祉の増進を目的に社会へ還元しています。

みなさまの善意に感謝します！

金銭預託 (609,080円)

辻井利彦、あかねが丘学園陶芸クラブ、
兵庫県東播磨福祉地区善意募金会、匿名4件

物品預託 (日用品、車いす、文房具)

イオン明石店SC、兵庫信用金庫、匿名2件

金銭払出 (80,000円)

全国心臓病の子どもを守る会兵庫県支部
視覚障害者社交ダンスフレンド
みんなでハッピーキャンプ実行委員会



市民の方への貸出用車いすとして活用させていただきます。

会費の納入ありがとうございました

自治会・町内会を通じて各世帯にお願ひしました普通会費をはじめ、民生委員など多くの方々からの特別賛助会費、また社会福祉施設や各種団体からの施設団体会費の納入にご協力いただき、ありがとうございました。

	平成23年度(9月14日現在)	平成22年度実績
普通会費	10,110,990円	10,560,630円
特別賛助会費	1,181,000円	1,316,000円
施設団体会費	250,000円	245,000円
合計	11,541,990円	12,121,630円

社会福祉協議会の貴重な自主財源である会費を地域福祉を推進する各種事業に活用してまいりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

東日本大震災義援金・支援金

前号掲載分以降9/14までにいただきました義援金、支援金は下記のとおりです。(敬称略)

【義援金一般募金】

103,577円

匿名	10,416	ふれあいプラザ明石西V活動室(募金箱)	6,610
東松江むぎの会	10,041	ボランティアグループ 松の実会	30,000
前田房夫・千恵子	30,000	三木商店(募金箱)	2,638
手話サークル明城会	5,000	匿名	1,000
カラオケ居酒屋はやし(募金箱)	4,592	市社会福祉協議会(義援金鍋)	3,280

インフォメーション

「車いす」を貸出しています

市社会福祉協議会では、在宅で介護を必要とする方の生活を支援するため、総合福祉センターとコミセンなどの地域の貸出拠点で、「車いす」の無料貸出しを行っています。ぜひご利用ください。

貸出の限度期間	総合福祉センター	3ヶ月
	地域の貸出拠点	2週間

※地域の貸出拠点（コミセンなど）は市社会福祉協議会のホームページに掲載しています。

HPアドレス <http://www.akashi-shakyo.jp>

家庭で使わなくなった福祉機器を提供してください。

市社会福祉協議会では、ご家庭で使わなくなった電動ベッド、車いす、シャワー椅子などの福祉機器の提供を受け、必要な方に無償で譲渡する「福祉機器リサイクル事業」を行っています。ご家庭で使わなくなった再利用が可能な福祉機器がありましたらご連絡ください。

市社会福祉協議会 在宅福祉係
☎078-924-9105



1日ボランティア体験教室

今年度は、ボランティア活動についてより身近に感じていただくことを目的として、地域に向き開催しました。

**ボランティア連絡会と協力し、地域に出ていき、大成功でした。
依頼したボランティアも講師となったボランティアもこの笑顔！**



車いす体験



介護のコツ



折り紙

(1日ボランティア体験教室のまとめ)

開催期間	回数(回)	参加者数(名)			講師(名)
		男	女	計	
8/1(月)～8/30(火)	18	47	324	409	89

※昨年度に比べて、約2.5倍の方に参加いただきました。

市立総合福祉センターからのお知らせ

プール教室利用者募集中

在宅肢体不自由者が温水プールを利用して、心身の健康維持、向上を図ることを目的とします。

対象：市内在住で障害者手帳を持つ18歳以上の肢体不自由者

内容：水中での機能訓練とレクリエーション

日時：金曜日 午後1時～3時（3～4回/月）

定員：若干名

申込・お問い合わせ：市立総合福祉センター ☎078-918-5660



新役員紹介 8月24日に開催された理事会と評議員会で、次の方々が新たに選任されました。(敬称略)

理事 中山 義基 (大久保小学校地区)

評議員 竹岡 洋正 (大久保地区)・飯貝 昭弘 (大久保小学校地区)

(任期 平成23年8月25日～平成24年7月14日)